

CORAL REEF



CORAL REEF Vol.03

発行元 NPO 法人ラフト コーラル
〒274-0065 千葉県船橋市高根台 6-27-10

TEL/FAX 047-401-6460

編集人 土屋 滋朗

表紙題字 Mise Sousuke

2022年12月31日 発行

新規職員紹介

コーラル  周年によせて

コーラル管理者 土屋滋朗



初めまして、11月より入職いたしました、**寺岡勇貴**と申します。

28歳独身です。生まれも育ちも千葉の千葉っ子です！

私は、コーラルで働く前はデイサービスや市川市にある障がい者施設の生活介護の仕事をしていました。実は調理師の免許を持っており、飛行機の機内食を作ったこともあります！（いまはあまり料理は致しません…）

これから福祉の仕事をしていく上で、自分はどんな支援をしたいのか考えたところ、やはり障がい者の方の支援をしている時が、やりがいと楽しさを感じ充実していたなとふと思いました。

その時、コーラルの求人を見つけたのです。ラフトの理念「いっしょに生きる」という言葉に感銘をうけ、すぐに面接をして頂きました。そして、縁あり入職させていただくことができました。以前も生活介護の施設で働いていた経験はありましたが、場所が違えばやり方も違います。郷に入ったら郷に従えではないですが、新たに自分自身も勉強させていただいております。

毎日利用者様と過ごしていく上で、皆様の自分の作業に真剣に取り組む姿勢に私自身も負けないぞと奮い立っております。

まだまだ未熟者ではありますが、この先楽しいことも少し辛いこともあるかと思いますが、皆様と一緒に楽しみ、笑顔を忘れずに1日1日を大切に過ごしていきたいと思っております。頑張ります！

○趣味

野球観戦（千葉ロッテマリーンズファンです。）

映画鑑賞（すずめの戸締まりは2回見ました。）

散歩（休みの日は6キロぐらい歩きます。）

ドライブです！

そして14歳になる愛犬（ミニチュアダックス）を溺愛しております！



Illustration by Kusaka Takako

コーラルがまだ存在もしていなかった頃。今から遡ること5年ほど前、わたしは、ラフトのもうひとつの生活介護事業所「アイル」の職員でした。活動中に“アート”を取り入れようと試行錯誤していた当時、いくつかの施設を見学させてもらう機会をいただきました。

アトリエ・コーナス（大阪）、NPO法人スウィング（京都）、やまなみ工房（滋賀）を巡る関西ツアー。飛んで九州、しょうぶ学園（鹿児島）。いずれの施設も、“アート”や“表現”を通して、障害を持った方々の“生きるよろこび”を最大限に肯定しているように見え、大きな感銘を受けたことを鮮明に覚えています。そしてまた、そこに通う利用者さんの生き生きとした姿に、本当の人間らしさとは何かを、垣間見たような気持ちになりました。

これらの施設見学を経て、障害を持った方が過ごす場所としての理想像のようなものが、わたしの中にも少しずつ結ばれていったように思います。

さて、現在のラフトでは、その頃のわたしを知る職員もだいぶ少なくなりました（たった4、5年の間の話ではありますが…）。一方、利用者さんで言えば、当時アイルや休日の外出支援などで関わってきた利用者さんも、コーラルには多く在籍しています。若い若いと思っていた利用者さんが、ふと気付けばもうアラサー！？なんてことも（いやいや、三十路なんてまだまだ人生序の口ですね）。

そうそう、年齢の話で思い出しました。12月はコーラルのお誕生月でもあります。この歳になると誕生日なんてどうでも…なんてことはありません。ピチピチの3周年です。

パンデミックと共に歩んできた3年間。依然としてコロナが落ち着いたわけではないものの、なんとなくコロナとの付き合いかたも身についてきて（?）、少しずつですが外部の方がコーラルを訪れてくださる機会も増えてきました。毎日コーラルの荒波（全然穏やかなサンゴ礁じゃない）の中にいると忘れてしまいがちですが、外からの視点でふと意識します。あの時の施設見学で、外部の人間として感じたあの気持ち。あの時から抱き始めた理想像に、ちょっとでも近づけているだろうか、と。

3年なんてあっという間。されど、日々の積み重ねの大きさを実感することもしばしば。やっと歩き始めたばかりのコーラルですが、どうぞあたたかい目で、その成長を見守っていただけたらと思っています。4年目のコーラルは、いったいどんな年になるのでしょうか！？

コーラルの日常

彼女は笑います。

額には卵の賞味期限シールが付いています。

何か良いことでもあったかなと眺めていると、今度は涙を流しています。

彼女は踊ります。

独創的で柔らかな動きです。



彼は職員一人一人の名前を呼んで、元気な挨拶をします。

彼はとても真っ直ぐな言葉で話します。

職員 A「今日はBさんが添乗しますよ。」

彼「僕はCさんがいいです！！Cさんと一緒にいきたいです！」

職員 B「... (泣)。」

ストレートな表現が出来ない私にとって、印象的な出来事の連続です。

何気ない日常の風景ですが、コーラルだから味わえる空気感が私は好きです。



入職して、あっという間に半年が経ちました。

未経験で飛び込んだ私は、毎日のように支援について悩んだり、カルチャーショックを受けたり。

なんだか白髪が増えたような... 気もするし、夢の中でも仕事をしていますが、毎朝コーラルに向かうのが楽しみです。

利用者の方をもっと知りたいという気持ちはもちろんですが、支援を通して私自身の世界観が広がったり物事の捉え方が変わったり、自分の変化も新鮮で興味深いものがあります。

地域社会で共に生きる“輪の中”にいることを実感し、できるだけ長くこの仕事に携わっていきたいと思うこの頃です。

入職4ヶ月目のある日、「手紙入ってなかった。」

私に対して、初めて「うん。」以外の言葉を投げかけてくれた方がいました。短い一言でしたが、飛び上がるほど嬉しく、この時の感動は今後も私の支えになることと思います。

焦らず、ゆっくりと時間を共有すること。経験や知識と同じように欠かせない、とても大切なことを教えてもらった気がしました。

【番外編】頬が緩んでしまった突然の一言

「越道セーラームーンまで、3、2、1。」

「ネギ、好きですか。」

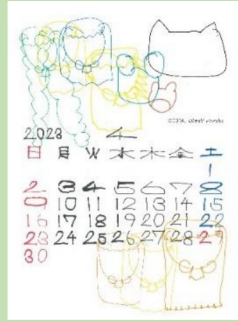
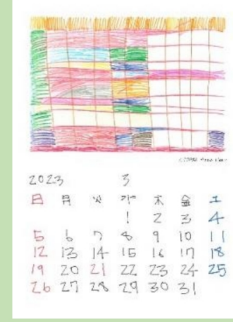
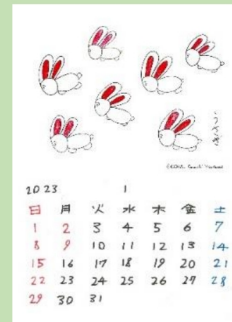
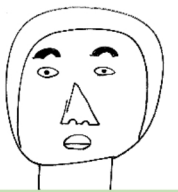
「おはようございます！今日も一日よろしくお祈りします！」(本日3回目)

「あつこお姉さん。」(うたのお姉さん)

コーラル非常勤職員

越道愛莉

2023ねん コーラルオリジナルカレンダー
販売中～！



参加作家：Suzuki Yousuke, Iida Yuichi, Yuasa Haru, Ohtaki Haruka, Ishino Hirino

Ohno Megumi, Nakano Takuto, Mise Sousuke, Kusaka Takako

Nisiyama Kazuki, Kuniyoshi Takuya, Kusumoto seiki

Font：Kunivoshi Takuva, Kawauchi Satoshi, Nakaijima Yui, Kusumoto Seiki

B5版 ¥800

